

# 抄録

## デジタルデンティストリーにおける歯科技工士の新たな役割と課題

「デジタル情報を正しく管理・活用できる歯科技工士がチーム医療に参加できる時代の到来」

株式会社インサイドフィールド

代表取締役 中野田紳一

近年、遠隔地にある歯科医療情報にも容易にアクセスできる情報インフラは整ってきた。また、モデルコアカリキュラムの刷新によって歯学部教育は技工関連実習削減の過渡期を迎えている。この新しい時代には、歯科技工士による積極的な補綴計画の提案が要求されることとなり、そのためにはネットワーク空間や仮想空間での技術力がますます必要になっていく。そこで当日は、この時代に求められるデータ管理や汎用 3DCG/CAD について、できるだけわかりやすく解説することで、歯科技工士の新たな役割と課題について考えたい。

## 発表内容のポイント

1. 頼りにされるチーム医療の一員になるための提案
2. 歯科医療情報データベース構築例の紹介
3. 汎用 3DCG/3DCAD ソフトウェアの紹介
4. 国立大学歯学部における新しいクラウン製作実習の紹介
5. まとめ：歯科技工のデジタル化とは仮想空間で臨床的技術を発展させていくこと

資料

汎用CADによるデンタルデザイン theBASIC

補綴装置製作のための汎用CADヒント集

クインテッセンス出版 ,2016. ISBN-10: 478120530